

第1回 杉並区立桃井第二小学校校舎改築検討懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第1回杉並区立桃井第二小学校校舎改築検討懇談会
日 時	平成26年12月18日（木）午前10時～午前11時30分
場 所	桃井第二小学校 ランチルーム
出 席 者	懇談会委員15名（欠席2名）
傍 聴 者	7名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育委員会事務局学校教育担当部長挨拶 3 出席者紹介 <ol style="list-style-type: none"> （1）委員自己紹介 （2）事務局紹介 4 座長選任 5 桃井第二小学校の特色等について 6 桃井第二小学校の改築について（資料説明・意見交換） 7 事務局からの連絡事項 8 閉会
資 料	<p>資料1 杉並区立桃井第二小学校校舎改築検討懇談会設置要綱</p> <p>資料2 杉並区立桃井第二小学校校舎改築検討懇談会委員名簿及び事務局名簿等</p> <p>資料3 平成26年度 学校要覧</p> <p>資料4 杉並区立桃井第二小学校の改築について</p> <p>資料5 現況配置図等</p> <p>資料6 杉並区立高井戸第二小学校校舎改築検討協議会報告書</p>

学校整備課長	<p>寒い中、また早朝よりお集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから杉並区立桃井第二小学校校舎改築検討懇談会を開催します。開会に先立ちまして、学校教育担当部長からご挨拶申し上げます。</p>
学校教育担当部長	<p>皆さん、おはようございます。教育委員会事務局学校教育担当部長の和久井と申します。</p> <p>本日はこの杉並区立桃井第二小学校校舎改築検討懇談会にご出席いただきましてありがとうございます。また、この懇談会の委員を快くお引き受けいただきまして感謝申し上げます。</p> <p>さて、この桃井第二小学校は、昭和3年の開校以来、数多くの卒業生を輩出しておりまして、地域に親しまれて発展してまいりました。</p> <p>しかしながら、昭和40年代に建築され、来年で築50年となります。いわゆる老朽化の時期を迎えた状況になっております。</p> <p>教育委員会としましても、本年5月に小中学校の老朽改築計画を策定しまし</p>

	<p>て、学校の改築時期をおおむね 50 年から 60 年ぐらいでしていこうと考えております。遅くとも築後 65 年には改築したいという計画を立てております。</p> <p>先ほど申しましたとおり、この桃井第二小学校も築 50 年を迎えるということですので、改築対象の学校として時期を検討してまいりました。</p> <p>そうした中で、地域の子どもたちの教育環境の充実や健全育成を図るために、学校校舎と学童クラブなどの施設を一体化して整備していこうということにしました。本改築検討懇談会は、懇談会という名称からもおわかりになると思いますが、何かを決定して区に対して答申するというものではなくて、お集まりいただいた地域の皆様、学校関係者の方々、学識経験者の方々からよりよい学校になるように、さまざまなご意見をいただき、基本計画づくりを進めてまいりたいと考えております。皆様のご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、配付資料の確認と座長の選任までの間の進行は、学校整備課長が行いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>改めまして、私は教育委員会事務局学校整備課長の喜多川と申します。校舎の改築や修繕といったことを担当しているセクションの課長です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>座長を選任させていただくまでの会の進行を務めさせていただきたいと存じます。</p> <p>それでは、皆様のお席にお配りしております資料の確認をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(配布資料の確認)</p> <p>次に、この懇談会を進めるにあたりましてお願い事がございます。基本的にこの懇談会は原則公開となります。会議録についても原則公開となります。会議の記録のために録音と撮影をさせていただくことを委員の皆様にご了承いただきたいと存じます。</p> <p>この会議録の公開の方法ですが、委員である発言者のお名前は伏せた形で公表させていただきます。委員の皆様は特にお名前を載せないで「発言者」として記録を作成させていただきたいと思いますが、よろしいですか。</p>
<p>(「はい」の声あり)</p>	
<p>学校整備課長</p>	<p>それから、先ほど申し上げましたように、懇談会は公開で行いますので、傍聴も可能としております。傍聴をご希望される方がいらっしゃる場合には、基本的に私どもは認めることにしておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日第 1 回目の初顔合わせとなりますので、委員の皆様にお一人ずつ簡単に自己紹介をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(委員自己紹介)</p> <p>それでは、事務局をご紹介します。</p> <p style="text-align: center;">(事務局自己紹介)</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>皆様、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>今、皆様から自己紹介をいただいたところですが、本懇談会は学校の関係者、</p>

	<p>学童クラブの関係者、町会、学識経験者とさまざまな方面から委員としてお集まりいただきました。</p> <p>今後の議事の進め方ですが、円滑な議事の進行・司会を担う役割として、座長を選任させていただきたいと思えます。高井戸小学校の改築時に学校長として学校運営を経験され、学習院大学で教鞭をとられておられます、久保田委員に座長にご就任させていただきたいと思えますが、皆様いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔拍 手〕</p> <p>ありがとうございます。それでは、座長を久保田委員にお願いします。</p>
(久保田座長、座席を移動)	
座長	<p>改めまして久保田でございます。よろしくお願いいいたします。</p> <p>私は教職 38 年間のうち、23 年間は杉並区でお世話になりました。学級担任、管理職としてのあつという間の毎日ではありましたが、特に最後は先ほどご紹介いただきましたように、9 年間高井戸小におりました。その中で旧校舎時代 5 年、新校舎時代 4 年、まさに改築を自分でも経験しております。少しでもまたお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいいたします。</p>
学校整備課長	<p>さらに会の進行をともに務めていただきます副座長も選任させていただきたいと思えます。建築のご専門家でいらっしゃるしまして、杉並区の都市計画審議会でご重責を担われております村上美奈子委員に、副座長としてご就任をさせていただきたいと思えますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔拍 手〕</p> <p>では、村上委員、お願いします。</p>
(村上副座長、座席を移動)	
副座長	<p>私が久保田先生に最初にお会いしたのは、杉並第十小学校の建て替えのときでございました。建築とともに地域計画をやっておりまして、スタンスとしては学校を中心としたまちづくりを主にやっております。</p> <p>そのほか環境面で、荻窪小学校のエコスクールの建て替えにもかかわったことから、荻窪小学校、杉並第八小学校の環境学習などもやらせていただいております。よろしくお願いいいたします。</p>
学校整備課長	<p>それでは、ここからは座長に進行をお願いしたいと思えます。よろしくお願いいいたします。</p>
座長	<p>今日はこの後、皆様方のご予定あるいは学校とかいろいろあるかと思えますので、昼前には終わるように円滑な進行に務めてまいりたいと思えます。どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>では、早速会次第に従って、桃井第二小学校の特色等について校長先生にお話をさせていただきたいと思えます。よろしくお願いいいたします。</p>
校長	<p>それでは、本校の特色について少しお話をさせていただきます。今年度 86 周年を迎えたところです。</p> <p>教育目標は、「心身ともにたくましい子ども」「進んで学ぶ子ども」「進んで体</p>

をきたえる子ども」「なかよく助け合う子ども」です。

ここの校歌は与謝野晶子先生にお書きいただきました。作曲は山本直純さんのお父様（山本直忠氏）にさせていただきました。昨年度与謝野晶子さんの直筆の校歌の歌詞が区の文化財の指定を受けました。今、実際のもは郷土博物館にお預けしているところです。校長室にはとてもすてきに表装されたレプリカを預らせていただいております。

石の歌碑は校庭に今あります。3番までのとても重みのある歌で、みんなで歌わせていただいております。

本校の特色として9つ挙げさせていただいております。

まず1つ目が「学力の向上に努めます」ということで、学校の状態としては学力調査等では区の成績を大変上回っておりまして、優秀な子どもたちですが、やはりいろいろ個々の差があるので、少し丁寧に学びを積み重ねさせようと考えております。算数少人数クラスでは、3学級あるところ、算数ですと講師も入れて5学級展開ということで、きめ細かい指導を行っております。

また、夏季には集中講座的なことで、パワーアップ教室等もして、このワークをしているところです。

次に「優しさを追求します」ということで、今いろいろいじめ等も問題になっていますが、早期発見・早期対応に努めております。都と区のスクールカウンセラーも週2日来ていただいております。また、特別支援学級のひまわり学級を併設ということで、今年度は9名の子どもたちがいますが、日常的に交流を深めて進めています。

また、ピアサポートを何年も前に研究で進めまして、それをずっと引き続きやっております。学校支援本部の皆様のお力もかりながら、地域の方にも加わっていただいております。

次が「体力の向上に努めます」ということです。体育朝会を含め、これから冬になりましたらランニング、少し前ですと長縄大会をするとか、体力向上に努めるとともに、やはり都会の学校という形で遊び場がほぼできませんので、2年前から朝庭ということで、これも学校支援本部の皆様にご協力をいただいて、朝の7時45分から8時15分まで30分、思いっきり遊んでいいということで開いております。かなり子どもたちが朝早く登校して思いっきり30分遊んで、そこできれいに切りかえて授業に臨むということで、これも少し体力向上に役立っているのではないかと考えております。

次に「食育を推進します」は、栄養士の指導のもと、いろいろな食べ物のことをやったり、左下は子どもたちが実際にトウモロコシをむいたり、枝豆をもいだりというような体験的なこともさせながら、また会議室等が少ない中、ここが今貴重なランチルームになっています。

会議室と仕分けるために、カーテン等でムードを盛り上げて、月に1回はランチルームで、少しよそ行きで、教室で食べるのとはちょっと違った雰囲気食べようということです。また、バイキング給食も今やっております、子どもたち

がいろいろなものをチョイスして食べられるような環境の提案もしております。給食は民間委託をしておりますが、おいしい給食を提供しております。

次に「環境教育を充実します」ということで、これはずっとお話しさせていただいています教育課程研究指定校の話と同じようになりますが、3年生ではヤゴ救出をしています。これは先ほどご挨拶いただいた委員さんにも大変お世話になっております。

また左下にソニー池というのがあります。ソニー池はいろいろな植物、地域の水生植物等が植わっていますが、今はこれも子どもたちの力で少しつくりかえていこうとしております。

次に「読書活動を推進します」は、学校司書が常駐しているので、図書室の環境整備をかなりしております。図書室の環境整備とともに今、読み聞かせをしていただいています。保護者のボランティア、元保護者だった方にも加わっていただいたりして、読み聞かせの充実、つい最近も桃友会で集めたベルマークで図書の購入で充填する等をやっております。

また、1学期には青葉読書週間、2学期には紅葉読書週間ということで、集中的に読書に親しむ場を設けております。

次が「ことばの教育を充実します」ということで、これはモジュールの学習の中でやっておりますが、区の言葉の教育の冊子を活用させていただきまして、子どもたちにいろいろな発表等がスムーズにいくような助けとしております。

「国際理解教育を推進します」と書かせていただいておりますが、これは区の施策でもありますので、高学年には外国人の講師の方を招いて、またほかのところでは日本人の英語のサポーターの方に協力していただいて、担任とTT (Team Teaching) で1年生から全学年で、外国語活動の時間を設けております。特に低学年がすごく染み込むといえますか、活動が活発になってきて、それを見ると高学年まで続けてやっていくようになっていきます。

次に「小中一貫教育を推進します」ということで、今ちょうど写真に写っているのは、去年は松溪中の生徒会の人たちでしたが、小学生にも私たちの取り組みを発信したいということで、やはり傷つく言葉はいけないとか、そういう話をしに来てくれたり、中学生と一緒に地域清掃にかかわったりといろいろな意味で、小中一貫の対象としては神明中ではなく松溪中と西田小と連携しながら、中学校の先生に出前授業をしていただくなどしております。

以上の9項目を大きな特色で挙げていますが、今年度は秋の大きな行事は展覧会をさせていただきました。展覧会という場でも中学生の作品を飾らせていただくなど、いろいろなところで連携をしながら取り組みを進めております。

ここに出ているのは主な行事です。土曜授業ということで今、土曜日も開催して、地域の皆様に授業に入らせていただいて歌ったりしているところです。行事については詳しくお話しはしませんが以上です。

現状はこんな形で、6年生だけ4クラス展開でやっております。ほかは全部3クラスで、現時点で530名の児童がおります。こちらの端にひまわり学級という

	<p>ことで、先ほどお話した特別支援学級を併設しております。教室はもうぴったりという感じです。算数少人数で2部屋使うこともありますので、その部屋もやっと確保して進めております。</p> <p>先ほどプリントを配らせていただきましたが、昨年度と今年度に杉並区の教育委員会の教育課題研究指定を受けております。タイトルが「持続可能な発展のための教育（E S D）の視点に立った学習指導の在り方」ということで、主に生活科と総合的な学習の時間の中で、子どもたちに課題を考えさせ、そして子どもたちがみずから課題解決につながるような手立てをいろいろ考えながら、教育活動を進めております。副主題に「～身近な環境を生かして育むこころづくり・ひとづくり～」というので、大きくE S Dの取り組みの中でこの3つを大切にしながら進めております。</p> <p>1つは教材のつながり、能力、態度のつながり、そして人とのつながりということで、この荻窪の地域や保護者やいろいろな人たちとつながりながら、取り組みができたということ。今6年生は、自分たちが考えたいろいろな取り組みをみずからの力で解決しようということで、発信も自分たちから朝会の時間をわけていただけますかと自分たちの思いを伝えたいと言ったり、お知らせのプリントをどんどん配ったりしています。</p> <p>もう一つ、今年度は杉並区教育委員会のタブレットパソコンにかかわる研究の協力校としても参加させていただいておりますので、今4年生以上に1人1台のタブレットパソコンを与えております。自分の名前が開けるようになっておりまして、調べ学習やいろいろ活用をしております。</p> <p>また、これはほかの学校もですが、各教室に電子黒板つきのプロジェクターがついておりますので、それを活用して、直接教科書を開いてと言わなくてもプロジェクターで教科書の画面がこんな形で映し出されて、1つのものに集中しながら子どもたちが学習に取り組むということで、そんな試みもしています。</p> <p>また、小中一貫のこともお話ししましたが、近隣の保育園と幼稚園、ここでは荻窪北保育園と荻窪東保育園、近くの日の丸幼稚園と、この3園とはすぐつながりを深く持っております。先生方が保育園に行って参加する。また、逆に大きな行事があるときには、ぜひ来てくださいという保育園の年長さんとかが一緒に来てくれる交流もありまして、保育園の方と1年生が交流を持つとか、そういうことを積極的にやっております。</p> <p>運動会の会場も本校の校庭を使っただけとか、その辺のつながりはとてもいい形で進んでいると思っております。</p> <p>以上、簡単ではありましたが、学校の紹介をさせていただきました。来年度の新1年生は100名ぐらい来る予定になっています。まだ確定はしていませんが、今年度と同じく3学級は維持ということで進んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>ありがとうございました。それでは、何かご質問等ございましたらお願いします。</p>

	よろしいでしょうか。
校長	言い忘れましたが、地域とのつながりが深く、〇〇委員にはもう長年にわたり門に立っていただいて、あいさつ運動をしていただいております。
委員	丸々12年目だね。
校長	はい。12年目でございます。お世話になっております。今度特色に入れたいと思います。よろしく申し上げます。
委員	はい。
座長	ありがとうございました。 それでは次の議事に移ります。桃井第二小学校の改築について事務局から資料の説明をお願いします。
教育施設計画 係主査	<p>桃井第二小学校の改築について、資料4の1ページをご覧ください。</p> <p>先ほど現時点の児童数のお話もありましたが、5月1日現在で少し古いデータですが、児童数は520人、学級数は18です。ひまわり学級という特別支援学級もありまして、こちらは9人で2学級となっております。平均的な区立小学校よりも若干大きい規模の学校です。</p> <p>(2) 施設規模は、資料5-1と5-2が配置図になっておりますので、具体的なイメージをご覧いただければと思います。</p> <p>敷地面積は8,913平方メートルで、こちらは区立小42校のうち28番目の大きさです。平均が9,300ぐらいですので、敷地面積としては余り大きいほうではありません。</p> <p>運動場の面積は、この資料を作成するにあたり、製図用のソフトで施設台帳から測ったものです。こちらが3,445平方メートル、また校舎の延べ床面積4,871平方メートル、体育館等の面積594平方メートルで、ご覧のとおりです。</p> <p>2の改築における基本的な考え方です。</p> <p>(1) これまでの桃井第二小学校の歴史や伝統、教育の特色などを活かしつつ、電子黒板やタブレット型情報端末といったICT教育設備の導入など、時代の要請を踏まえた教育環境の充実を図ります。</p> <p>(2) 学童クラブを学校内に設置するとともに、学童クラブ利用者以外の児童も放課後に学校で過ごせるように放課後等居場所事業を実施します。放課後の子どもたちの居場所として必要な環境整備を行います。</p> <p>(3) 地域住民に開放する集会室、近隣の保育園児等が遊べる小規模の遊び場を合わせて整備するなど、地域コミュニティの核となる施設を目指します。</p> <p>区としてはこの3つの考え方を基本線にしているわけですが、もちろん学校改築にあたり、これですべて網羅しているとは考えておりません。この懇談会において皆様方から積極的なご意見をいただきまして、改築の基本的な考え方、方針を区で取りまとめたいと思っております。いろいろな立場の委員の方がいらっしゃいますので、さまざまなご意見を頂戴できたらと思っております。</p> <p>次に3の改築検討懇談会の開催予定をご説明します。このスケジュール表です</p>

	<p>が、これまでの改築の検討協議会、特に直近の改築校である高井戸第二小学校のスケジュールなども参考にして作成したものです。</p> <p>以前は通常6月ぐらいから7回から10回程度開催しております。今回は、9回なのでほぼ同様の開催規模にしております。</p> <p>ただ、今回は区の実行計画をまとめる中で、桃井第二小学校の改築も計画化したため、早めに関係者の方にもお集まりいただき、懇談会をスタートさせました。多様な意見を設計に反映していこうということで、年度内に2回開催という運びになっております。</p> <p>開催予定案なので、懇談の内容、進み方によっては前後するなどはあると思います。</p> <p>懇談会の序盤は、皆様方の意見交換や改築校の施設見学によって、学校改築とはどういうものかというイメージをつかんでいただければと思います。</p> <p>来年度4月以降ですが、この学校が改築でどのようになってほしいのかというような基本的な方針についての意見を深めていただき、事務局でまとめていきたいと思っております。</p> <p>第5回目以降は大きなテーマである校舎の配置の計画とか、平面の計画をご議論いただいて、基本設計に順次反映していきたいと考えております。</p> <p>それでは、4の改築スケジュール案をご説明します。</p> <p>26年度はこの懇談会の設置、立ち上がりになります。27年度は引き続き懇談会の運営を行い、同時に基本設計を行います。また、こちらに書いてございますように、埋蔵文化財や地盤調査、測量といった、工事に先立って必要な調査も行ってまいります。</p> <p>28年度になりますと基本設計でまとめたものをより具体化するための実施設計、また仮設校舎の建設などが予定として入ってきます。</p> <p>29年度、30年度はいよいよ新校舎の建築工事ということで、2カ年にわたって建設工事を行います。同時に建設した仮設校舎に子どもたちが移って、仮設校舎で学習する予定になっております。</p> <p>30年度には学童クラブも仮設に入って運営してまいります。</p> <p>31年度4月に新校舎が完成する予定です。31年度で環境整備工事として、校庭や学校の周りの外構といった部分を整備して、いよいよ完成となります。</p> <p>基本設計を含めて5年間という長期のスパンになりますが、工事はこのような形で予定しております。</p> <p>これも高井戸第二小学校の改築の例を参考にした予定ですので、またいろいろな事情が発生するとか、そうしたもので変わる可能性もあります。まずイメージをつかんでいただくとしてはこのようなスケジュールとご理解いただければと思います。</p> <p>雑駁ではございますが、桃井第二小学校の改築については以上です。</p>
座長	事務局から区としての改築における基本的な考え方やスケジュールの説明がありました。今回の改築事業については、また委員の皆様もそれぞれいろいろな

	<p>イメージをお持ちかと思います。</p> <p>きょうは第1回ですので、委員の皆様全員からご発言をいただければと思っています。事務局からの説明に対するご質問も含めて、1人2分程度でご発言いただければと思います。</p> <p>今回は校舎改築検討懇談会ということですので、やはり子どもたちが過ごしていく学校の改築ということや、あるいは先ほどお話のあった学童クラブのこと、また地域開放の集会室等、それらを中心に据えてぜひご意見を伺えればと思います。よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>今、事務局からご説明いただいた方向づけで今後審議を進めることに賛成です。できるだけご出席いただいている皆さん方のご理解を頂戴して、自分たちがこれに参画してすばらしい桃井第二小学校ができたという思いが、皆さん一人ひとりに伝わるような学校に仕上がればよいと思っています。</p> <p>何と申しましても、桃井第二小学校は歴史と伝統のあるすばらしい学校です。この学校をよりすばらしくするために、杉並一にするために、私どもとしては地域の者が力を尽くしていかなければならないと思っておりますので、どうぞ今日ご出席いただいております皆さんのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。</p>
委員	<p>ちょっと気になったことが2点あります。</p> <p>まず第1点は、学童クラブの施設運営が30年度にかかっているのですが、その仮設校舎に安全にできるかどうか。もしできなかった場合は、ぎりぎりまで「あんさんぶる」でやらせていただくことはできないのかということです。</p> <p>第2点は、やはり校庭の地盤が軟弱だということです。ここは地域に余り広場がないものですから、できるだけプールと体育館をセットされた形で、そのあたりを全部校庭用地にできるだけ使わせていただくのが理想ですが、まず地盤が悪いというその辺をしっかりとやっていただけるかというのが気になっております。よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>学童クラブは、30年度に仮設校舎ということになっておりますが、この狭い仮設の中でそういうことがうまくできるのかどうか。そういうことを心配しております。</p> <p>できましたら、先ほどの委員の方のご意見と同じように、「あんさんぶる」でできるだけぎりぎりまで学童クラブをやっていただく。「あんさんぶる」をなくすことを私たちは地域の住民として本当に苦慮しております。そういう点を考慮していただいて、できるだけ地域の方々、児童さん、そういう方々に負担のかからないような方法でやっていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>設計等についてはまた追々、私どももまた議論させていただきますが、5年、6年という長期にわたりますと、子どもさんたちの体力あるいは日常生活の中で、子どもたちと親しむ校庭での活動など、大分制限されることもあると思います。そこのところは最低限、相当スムーズに確保していただくような形で気をつけていただきたいと思います。</p>

委員	<p>やはり「あんさんぶる」の件ですとか地盤のこととか、子どもにストレスがたまらないようなことは同じですが、私は地域に住んでおりますので、これはもちろん賛成で喜ばしいことですが、日照権のこととかやはり地域に住んでいる人のことは、これから設計ですが、それ以上高くなるのか、どのような形になるのかわかりませんが、日照のことはやはり危惧していると思います。</p> <p>あと基本は、子どもにストレスがたまらないような方向性です。あと今後の世の中は激動のような感じも考えられますので、必ず新設できるようにしてもらいたいと思っています。</p>
委員	<p>私もこの近隣で子育てをしまして、本当に公園が少なくて、伸び伸び元気に遊ぶ場所がなくて、そういう場所を本当はこの地域につくりたいと思って活動したのですが、ここにはそういう場所がなかったのので、今は柏の宮公園と井草森公園で、ふだんの公園ではできないロープワークとか火を使ったり、穴を掘ったり、元気に遊ばせる活動をしています。</p> <p>「あんさんぶる荻窪」ができるときに、大きい公園をつくるのは無理でも、せめて子どもたちが少しでも元気に運動したり遊んだりできるようにということで、荻窪北児童館に大きな体育館をつくってもらえるような働きかけを区にしたりしました。</p> <p>あの場所がなくなってしまうのは本当に寂しいです。今は本当に保育園の子どもたちのいい散歩コースになっていたり、近隣の人たちが集ったり、中高生が勉強しに来たり、地域ですずらん通りとコラボしてお祭りをしたりとか、そういうことをして、本当に地域に根づいた施設になっていると思います。それを全部ここに持ってくるのは難しいのは承知していますが、できるだけ子どもたちが本当に元気に遊べるようないい場所、うるさいと言われたいような施設づくりをしてほしいです。</p> <p>この地域の子どもたちが今まで以上に元気に伸び伸び暮らして、それを地域の人たちが見守るような、そして地域の交流ができるような、建て替えしたかいがあった、「あんさんぶる」は惜しかったけれども、ここにすごくいい場所ができたと思えるように考えていけたらと願っていますのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>児童数に対して校庭が小さいと日々感じていたのですが、さらに改築となると校庭に影響が出る期間があるということで、どういうふうに体育の授業が行われていくのかというのはすごく気になっています。</p> <p>これから放課後遊びができたりするような学校になっていくのならば、すごくいい機会だと思ひまして、普段ボール遊びをするような公園が周りに全くなくて、自転車です少し遠出をしないとボールが投げられないような状況の中で、体力が低下しているという話も聞きました。ですので、そういうものが身近な学校で、校庭開放のときにできるといいなとすごく期待しています。</p> <p>小中一貫とか地域のつながりがさらに増えていくことに期待しています。</p>
委員	<p>この改築の話、「あんさんぶる」の話をいただいたのは、私がPTAの会長をしていたときだったので、かなり保護者からも動揺があったんですね。今の校舎</p>

	<p>の中に「あんさんぶる」のあの機能を全部持ってくるというか、学童クラブを入れるという話だったので、親御さんたちにも学校以外の子どもが出入りすることとか、安心・安全面のことについてもかなり心配されていました。</p> <p>学童クラブは学校の中でちょっとつまらないことがあった子も、学校以外のところに行くことで気持ちが切りかわって、放課後は別の気持ちで過ごせるというところが、この学童クラブと学校が離れていたいい面だったと思います。そういう面が一緒の敷地内に来ることによってかなり心配されている親御さんもいたので、そういうことも配慮していただけたらうれしいと思いました。</p> <p>でも、私としては、私の子どもたちもこの卒業生ですので、学校は変わってしまったけれどもきれいになってよかったなと思えるような校舎になったらいいと思います。</p> <p>あとは科学館がなくなってしまうことによって、理科教室ができなくなってしまうのが大きな分岐点だと思いますが、それによって学校の中の理科室を充実させるというふうなお話をいただきました。私立の学校を見学に行ったときに、すごいなと思ったのが、教室の後ろのほうがドーム型になっていて、そこに簡易のプラネタリウムをつくれるようになっていたんですね。それで1クラス分ぐらいはそこで見られたりするの、こういうふうな感じの理科教室の設備になったらいいとも思いました。</p> <p>校舎がいっぱいいっぱい、子どもたちが窮屈な思いをするよりは、改築してきれいになって校庭も広くなるほうが、本当に建て直してよかったという声を聞けるように、私も頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>学校に関わるのもそうですけれども、私は地域でずっと関わってきて、また児童館そのものには30年近く関わってきています。</p> <p>やはり子どもたちが児童館で遊ぶ姿は、学校で見られない違った姿なんですね。ですから、そういう子どもたちの姿を今まで見てきました。児童館や学童クラブが最初は学校の中に設立されて、それで学校のそばというか、1つの教室を学童クラブというようなのが出発だったと思います。</p> <p>でも、それは学校から「ただいま」と違う場所に帰ったときに、初めて子どもは違う環境に順応できる、そういうものを持っているので、違う場所につくるのがいいというので児童館が別個になりました。</p> <p>他区では、児童館をつくってほしいと思っているのにないという声をずっと聞いていました。私は青少年委員をやっているときには、他区から「いいわね、杉並区は児童館が学校ごとにあって」というようなことを言われて、すごく自慢に思った時代があったんです。ですから、そういう意味では児童館が今後どういふふうになるのかを一番危惧している者の1人です。</p> <p>皆さんもおっしゃられたように、途中で仮校舎に子どもたちが入るとするのは、本当に大変なことだと思います。そのときに学童クラブもそこに移転してくることになると、もうすごく大変なことだと私は思っています。ですから、できるだけその時期には、まだ「あんさんぶる」を使えるような形にぜひ力をかけて</p>

	<p>いただいて、そのように方向づけていただきければとすごく思います。</p> <p>やはり全然学校では見られない子どもの姿は、児童館はやはり環境が違うからだと思います。ふだん私も子どもたちと関わっている中で、全然しゃべらないというお子さんが、生き生きとして一生懸命になって細工物をしたりする姿を見て先生方もびっくりなさって、いつも見られないような姿だというようなことをおっしゃたりするのをいつも感じています。ですので、改築になることはとてもうれしいことで、いい学校になるだろうと期待しておりますけれども、その期間の途中経過は子どもたちが一番中心になって、ぜひ子どもたちのことを考えていただけたらと切に願っております。</p>
委員	<p>学校支援本部としましては、生徒たち、児童たちがちゃんと授業ができて、学校の先生たちもうまくやっていくための支援ということでは、力を惜しまずやっ ていこうと思っております。</p> <p>ただ、この改築における基本的考え方の3つの項目の中の2番と3番を見ますと、もしかして学校支援本部はこれに絡んでいろいろと頑張っていかななくては いけないのかと思っちょってちょっと重荷に感じております。</p> <p>特に2番の放課後などの居場所等は、今は桃二小はやっていませんけれども、 学校支援本部でやっているところもありますので、その辺もやっていくのかなと も思ったり、または違うところに委託をしているのかなと思ったりして危惧して おります。</p> <p>3つ目の地域住民に開放する集会室も、管理とか利団協とかいろいろなものが あると思いますが、その辺もどうなっていくのかという心配もあります。</p> <p>個人的なお願いですが、今は3階にある学校支援本部室はぜひとも1階に下り てきてほしいです。足腰がこれから弱ってくるので3階に上がらずに済むよう に。これは勝手なお願いでございます。PTAさんは若いのでいいのですが、支 援本部はできれば1階に部屋ができたらいと考えております。これは個人的意 見ですがよろしく申し上げます。</p>
座長	<p>全員の委員の皆様から発言をいただきましてありがとうございます。その中 でたくさん出ていた学童クラブの件や地盤軟弱について幾つか質問にかかわる ことだったと思いますが、今日の段階で事務局から今まで出されたことについて 何かございますか。</p>
学校整備課長	<p>荻窪北学童クラブの件ですが、本日は第1回目で、全体のこれからのスケジュ ールですとか、私どもが現時点で考えている基本方針などご説明させていただ き、そして初顔合わせをさせていただくことが趣旨でございますので、児童青少 年担当が来ておりません。と申しますのは、重ねて恐縮ですが、桃井第二小学 校の改築の件ということで本日は進めさせていただくということでした。</p> <p>当然学童クラブについては私どものこの資料についても、こちらの桃井第二小 学校を改築したらこの中に入っていくという考えを持っているわけですが、 「あんさんぶる荻窪」の国との財産交換についても今、ご指摘があったところ です。これについては現時点ではこのスケジュールの案で、最初にご説明したよう</p>

に平成 30 年度には国との財産交換が行われると区長部局から聞いておりますので、今ある学童クラブについては必ずどこかで、運営を断ち切ることなく連続していただかなければいけない。では、そういった考えのもとで、どこで運営するのかということで、最終的には新しい桃井第二小学校に入っていただくこととなりますが、その途中で仮設校舎の中に学童クラブを設置することが可能かどうか。そういうことを考えて、仮設校舎を建てようかというのはまだ案の段階ですが、そういったことが区の考えでありましたので、こういったスケジュールになっております。

先ほどお三方ぐらいから、こちらができるまで、改築が完成するまで向こうにいることはできないだろうかというようなご発言があったと思います。それについては申しわけございませんが、私どもからはここで判断をするとか、最終的にこうだということは申し上げられませんので、現段階では先ほど申し上げたようなスケジュールで、学童クラブの子どもたちが行き場がなくなるようなことがないように連続してやっていく。そのためにはどうしたらいいかというのが、先ほどご説明したようなスケジュールです。

ここでいただいた意見は当然区長部局にはお伝えしますが、最終的な判断は私どもではできないところです。そのあたりはご理解いただきたいと存じます。

それから地盤のことがございました。確かにおっしゃるとおり川がございまして、水はけの問題とか、ここの学校の校庭と周辺の高低差の問題とか、さまざまな課題があることは当然認識しております。新しい学校を設計していく中で、そういったことも解決していくことになっていくと思います。

具体的に長瀬様からグラウンドを広くとりたいと伺いました。最近の改築の例ですと、体育館、プールは重層化する建物が多くなっております。そして、やはりここは小学校が全部で 42 ございますが、その中で 28 番目の敷地ということは余り広くなく、50 年経つ古い学校で昔のような形でございます。体育館もプールも平面にあって、途中で増築したりしたというのがあったと思いますが、最近はなるべく効率的に敷地を活用するために、プールと体育館は重層化するような学校が多いです。

ただ、本体の学校の校舎の部分の設計とあわせて考えていきますので、どういった形になるのかはまだ全くわかりません。杉並区内の新しい学校には、永福南小学校と統合した永福小学校の校舎はそのまま改修して使いましたが、体育館とプールを重層化して隣の棟につくりました。

これまでいろいろ改築とは何かというご指摘を受けました。改修するのですかという話、一部建て直すのですかという話がありました。私ども役所の言葉で恐縮ですが、改築といいますと全部更地にして新しい校舎を一からつくるということです。ここの小学校もそういったことです。

そうしますと、体育館はどうする、プールはどうする。普通教室、理科室の充実をしてほしいという要望がございました。それもどう配置するのかは一から考えて設計していくこととなりますので、どういった形になるかはわかりません。

	<p>もしかしたら見た目上、校舎の中にプールが入ってくるかもしれませんが、体育館の位置もどこに来るかわからないというのはありますが、今おっしゃったことは非常に重要だと認識しておりますので、これから基本設計まではまだ先になりますが、その中で皆様のご意見をいただきながら、いい校舎、いい学校、いい建物をつくっていくということで考えておりますので、よろしくをお願いします。</p>
座長	<p>皆様のご意見、ご要望等を生かしながらこれから進めていくという基本線が明らかになったと思います。またこの会も来年度以降進む中で、実際に設計会社が決まったり、また入ってきたりする中で、具体的などころでいろいろ論議できるかと思います。</p> <p>このほかにご意見、ご質問等ございますか。</p>
委員	<p>先ほども出た児童館は、校長先生からお話があった現在の校舎の教室を使っているということで、大変ぎりぎりだと思います。その規模で、その中に児童館、集会施設等を入れるとすると相当設計上もきついと思います。</p> <p>今もお話があった校庭をできるだけ広くとりたいということから考えますと、大変厳しい状況ではないかと思います。そういう点をどのようにお考えになっていますか。具体的にある程度お話ししていただきたいと思います。</p>
座長	<p>限られた敷地の中でどうやって設計していくか、つくっていくかということになりますか……。</p>
学校整備課長	<p>具体的には荻窪北児童館のことだと思います。申しわけございません、児童青少年担当がいないのですが、児童青少年担当が計画している桃井第二小学校を使った児童館とか学童の展開については、あの児童館を丸々ここに移設することは、もちろん物理的に不可能です。</p> <p>そんな中でこれからそもそもソフトと申しますか、学童クラブと放課後の居場所事業というのがございます。支援本部でやっているところもございましたが、国がそれを一体的に学校で展開していくというような指針を出しております。</p> <p>杉並区が先行してそういったことをやっていたところもありますが、そういった新しい取り組みの中で、その取り組みを桃井第二小学校の改築にも当てはめていこうという考えを児童青少年担当が持っております。これまでの機能を継続するのは当然ですが、限られた中でどう展開していくか、物理的な土地の問題、新しい子どもたちを支援していく取り組みをうまく組み合わせていく。これが重要なポイントだと思っております。</p> <p>今後のこちらの会に、当然時期を逃さず児童青少年担当、区の全体計画で、もしどうしても私どもではお答えができないようなことがございましたら、担当の職員がこちらに参りまして、さまざまなご質問にもお答えしていきたいと思っております。今日はご意見をいただいております。</p>
座長	<p>児童館を丸ごと入れるのではないという線は見えてきていると思いますが、また学童クラブや放課後の居場所づくり等については、細かいところをこれから詰めていくことになるかと思います。</p> <p>ほかにご意見、ご質問等ございますか。</p>

	ご協力をありがとうございました。それでは、事務局から連絡事項についてお願いします。
教育施設計画係主査	(連絡事項)
副座長	ひとつよろしいでしょうか。さっきいろいろ地盤が不安だという話が出ていたのですが、私たちの専門用語で地盤というと地中の土の構成、どういう層があるかということですが、そういうボーリングのデータなのか。地盤面の高さとか善福寺川との関係の話なのか、皆さんがおっしゃっているのはどっちですか。
教育施設計画係長	行政がおさえているのは、(ゲリラ豪雨などの雨量時には特に東側に) 雨水が流れるというのはよく学校から伺っています。
副座長	では、地盤ではなくて高低差ですか。
委員	プールのあたりに段差ができるぐらい弱いんです。
副座長	地盤も弱いんですね。
委員	地盤自体も弱いし、高低差もあるんです。
副座長	高低差の問題と両方あるんですね。
委員	両方あります。
教育施設計画係長	建物を改築する前にはボーリング調査をさせていただきます。どこまで掘れば、硬い支持層が出るかきちんと調査いたします。
副座長	地盤の問題は建築的な技術でカバーできるけれども、標高差とかハザードマップがどうなっているかという話なのかというのとで全然用意する資料が違うなと思って、皆さんに伺いたかったんです。
委員	まず高低差が一番の問題だと思います。
副座長	では、ハザードマップが要るんですね。
委員	近隣の方々によれば、校庭の水が流れ出して大騒ぎしていますのでね。川との高さがほとんどありません。
副座長	後々は周辺の地盤面がわかる、本当は測量図みたいな詳しいものがあつたほうがいいですね。わかりました。
座長	それではほかにまだ何かございますか。
委員	資料6の一番最後に出ている平面図は完成平面図ですか。
教育施設計画係長	ほぼ近いのですけれども、竣工図ではありません。
委員	高井戸第二のことはよくわからないのですが、ここは学童クラブとか入っていますか。
教育施設計画係長	入っています。元々はなかったのですが入れました。
委員	どこを使っているのですか。
学校整備課長	28 ページの上半分の図面の1階です。

委員	意外に狭いんですね。
教育施設計画係長	ここは定員が違います。今、荻窪北学童クラブは100人定員で、ここは半分の60人定員です。 学校とは出入口も分かれていまして、中では繋がっていません。
座長	では、ほかに何かございますか。
委員	学童クラブのことですが、やはりどうしても30年度には明け渡さなくては行けない、1年間は仮設校舎に入るということですが、何かいい形でもう少し考えてあげられないかと思います。学童クラブの人たちは、異学年の大勢の児童が長時間いる以上は、安全面・環境等具体的に、何かいい方法で考えてほしいです。
学校整備課長	どう具体化するかというのはまた、ご意見として伺います。
委員	まだ先の話ですけれども、優先的に児童館、学童クラブの計画を進めていただくとか。
学校整備課長	一つ言えることは、桃井第二小学校の児童たちの教育環境の確保とあわせて、同じぐらい重要なことである。そして、学童クラブに通っていらっしゃる児童の皆さんも同じレベルで、環境を確保していかなければいけないのは当然のことだと思っておりますので、どこまでできるのかはこれから詰めていくところだと思いますけれども、今日のところはご意見として伺います。
座長	ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。 では、閉会にあたりまして学校教育担当部長からご挨拶をいただければと思います。お願いします。
学校教育担当部長	本日は第1回の顔合わせということでございます。皆さんから学童クラブのお話、地盤面の話とか、いろいろな課題をいただきました。これから皆さんとまた議論をしながら、よりよい学校をつくっていかうと考えておりますので、ぜひともまたご協力をいただきたいと思います。 学校施設も有限ですので、その中でどうやって効率的に施設を利用しながらいい学校をつくっていくのか。いろいろとご意見をいただいて進めてまいりたいと考えております。本日はどうもありがとうございました。
座長	ありがとうございました。 それでは、本日はこれで閉会といたします。お疲れさまでした。